平成29年度 事業報告

社会福祉法人 勝心会 施設長 西川 和代

平成 29 年度は、4 月より本格施行された改正社会福祉法により、経営管理体制の強化、事業運営の透明性の向上、地域における公益的な取り組みを実施する責務が求められる中、義務化された経営状況の公表を滞りなく実施し、9 月 1 日にはH28 年度インフルエンザのため中止となった兵庫県老人福祉事業協会の実施するサービス評価事業を受けた。結果については、「介護サービスの質の向上に向けた事業所の自発的な努力・体制づくりが計画的に取り組まれている」と、高い評価を受けた。

また、各部署ともに稼働率アップを目標に掲げ取り組んだ結果、特にほうらいの里認 知症型デイサービスの稼働率の上昇には目を見張るものがあった。

地域における公益的な取り組みでは、名愛サロン(船坂地区)にて認知症予防セミナーを実施し施設内においては、認知症予防教室を実施した。買い物困難な高齢者への支援として週一回の買い物支援サービスや認知症カフェを継続的に実施している。このような公益的な取り組みが評価され、平成29年12月7日、兵庫県社会福祉法人経営者協議会の地域公益活動推進セミナーにて活動の様子を発表した。その後、兵庫県社会福祉協議会の広報紙「ひょうごの福祉」の「キラリ・社会福祉法人」というページに買物支援サービスの様子が紹介された。このように、地域貢献活動にも力を注いでいることが評価された。

人材育成の面では施設内外への研修はもとより、自己研鑽により介護福祉士資格1名、 介護支援専門員資格は2名の職員が合格をした。